



開校35周年

三小だより

令和7年1月31日 発行

<2月号>

江戸川区立南葛西第三小学校

校長 佐久間 貴広

常に新たな発見を

副校長 阿部 貴広

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」という言葉があります。ついこの前に新年を迎えたと思っていましたが、あっという間に1月は行き、逃げる2月に突入しようとしています。

さて、最近、夕刻に日が沈む時間が少しずつ遅くなり、17時を過ぎても明るい日が多くなりました。朝の日の出も早くなってきています。少しずつではありますが、春に向かって季節の移ろいを感じる今日この頃です。逃げる2月、逆を返せば2月に逃げられないようにするためには、やはり、毎日を充実させていく必要があります。

先日、電車のとある広告に目を落とすと次のような言葉が私の目に留まりました。

「緊張は全力を出せる合図だ」

本気なほど、思いが強いほど、人は緊張する。緊張をエネルギーに変えるポジティブワードとして記されているようです。何かに全力で挑む人にとって背中を押してもらえそうな前向きな言葉だと思い、金言としてすぐに心に刻みました。

また、先日、日本とアメリカの野球界で大活躍したイチローさんが、日本人で初のアメリカ野球殿堂入りを果たしました。会見の中で、プロ野球選手を志す子供たちに向けて次のようなメッセージを伝えました。

「大きな成果を上げるには、地道に一步一步進んでほしい。」

当たり前のこと徹底して行い、コツコツを積み重ねる「凡事徹底のすゝめ」をイチローさんは提言していると感じました。イチローさんが選手として新人だった時、打撃投手に「今までにこれだけはやったと言える練習ってある？」と聞かれ、「ぼくは、たった10分ですが、寝る前に必ず素振りを1年365日、3年間続けました。」と答えたそうです。イチローさんは素振りの練習という当たり前のことを、人が真似できないほどひたすら徹底してやり続けたのです。イチローさんの名言に

「小さいことを重ねることがとんでもない所に行くただ一つの道」

という言葉があります。まさに「凡事徹底」、上述のアメリカ野球殿堂入りでの言葉と首尾一貫していると感じ、スーパースターとして大活躍した彼のエビデンスなのです。

では、学校生活における当たり前のこととは何でしょう。当たり前の取組こそが自分を高めていくことにつながります。しかしながら、当たり前のことを徹底して続けることは容易なことではありません。まずは目標を設定し、自分の夢や希望を叶えるためにコツコツと成功体験を積み重ね、一步一步着実に進んでほしいです。そして、褒めたり励ましたり、学校と家庭が連携してサポートして行きたいと思います。逃げる2月だからこそ、毎日の生活をより刺激的にかつ充実させるために、日常生活から何か新しい発見をするというアンテナを張り、今後に生かすためのきっかけとしたいものです。

明日は今年度最後の学校公開となります。1年間の子供たちの成長した姿を多くの皆様にご覧いただけたらと思います。

【席書会】

書写担当 須貝 恒希

1月10日、14日に席書会を行いました。1、2年生は各教室で硬筆に、3～6年生は学年ごとに体育館で毛筆に取り組み、3年生は「友だち」、4年生は「美しい山」、5年生は「新春の光」、6年生は「緑の大地」が課題でした。

体育館では、BGM「春の海」を聴きながら落ち着いた雰囲気、各学年で指定された文字を書きました。どの児童も、手本をよく見て丁寧に取り組み、とめ・はね・はらいや漢字と平仮名の大きさの違い、文字のバランスに注意して書くことができました。



【2月1日（土）学校公開「道徳授業地区公開講座」のお知らせ】

道徳担当 小嶋 佑

今年度、最後の学校公開では3時間の授業公開を行います。そのうち1時間は、昨年度と同じように「特別の教科 道徳」の授業公開を実施します。

小学校では、年間35時間の道徳の授業を行っています。道徳科の授業では、教材をとおして新たな価値観を見出し、児童自身がよりよく生きる方法を考えています。道徳の授業だからこそ様々なことを考え、自身の経験等を踏まえた意見を友達と共有し、そこから更に新たな価値観を見出したり、自分たちの考えを深めたりしています。

お忙しい中とは思いますが、道徳の学習の取り組みの様子をご覧ください。

【ウインタースクール】

5年担任 小野寺 智子

5年生は、1月19～21日に新潟県魚沼市にウインタースクールに行きました。親元を離れ、子供たちだけで過ごした2泊3日は、これまで経験したことのないことばかりで、すべての時間がかげがえのない思い出と子供たち自身の学びにつながったと思います。「よく見て聞いて味わって、嗅いで触って五感フル活用で楽しもう！」を合言葉に、総合的な学習の時間に調べ学習を行ってから実施しました。実際に雪に触れてスキーを滑り、コシヒカリを食べ、雪山のきれいな空気の中で生活する中で、学びが深まるとともに、たくさん楽しい思い出を作ることができました。また、友達と共同生活を行う中でそれぞれの役割を果たそうとするだけでなく、互いに声を掛け合い助け合う姿が見られました。様々な面で子供たちの成長を感じることができるといい宿泊学習となりました。

